



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 2924 回 第 27 例会
2017 年 1月 27 日
毎週金曜日

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-2017年度 R I 会長
ジョン F. ジャーム

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

◀ 例会場 事務局 ▶

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2016-2017年度 人吉ロータリークラブテーマ

復古創新 - 60周年を祝い、地域に奉仕しよう

本日の進行 (目次)

- P 1 会長の時間
- P 2 幹事報告、出席率報告
- P 2~3 60周年記念行事実行委員会表
中川実行委員長挨拶、片岡総務委員長挨拶
6委員会会合
- P 3~4 ~月信ガバナーメッセージ、ミニR情報~

点 鐘 本田 節 会長

歌 唱 ッグリーダー 水野 S A A 副委員長

国歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「我等の生業」

司会・進行 石蔵尚之 プログラム委員長

会長の時間

会長 本田 節



大寒も過ぎ少しは寒さも和らぎつつありますが、今インフルエンザが流行しております、小学校等では学級閉鎖もあり会員の皆様方には十分健康管理にはお気をつけてお過ごし頂ければと思っております。

先週の日曜日は大関の稀勢の里が優勝を果たし、19年ぶりの日本出身の力士が横綱になるという大変嬉しい話題でありました。長い間横綱が外国人力士でありましたので国民誰もが念願していた誕生であり、千秋楽での横綱白鵬との一戦は粘り強く諦めない精神力が勝利をもたらした一戦でありました。私も感動で涙が出ました。その事が稀勢の里出身茨城県においても、子ども達がインタビューの中で“誇りに思える”とか“自分もあのように強くなりたい”とか自信と誇りに満ちた言葉が聞かれ、次世代を担う子ども達にとっても夢や希望が持てる良い話題でありました。まさに職業を通した奉仕の

素晴らしさの一つであったろうと思います。

ところで、アメリカのトランプ大統領の就任挨拶やその後の職務の中で大統領令にサインされる姿を見る時、大統領の権力や世界に及ぼす影響力は計り知れないという不安をかきたてられたのは私だけではないのではないのでしょうか。TPP離脱を正式に署名され環太平洋12ヶ国とのパートナーシップは完全に絶たれました。安倍政権の成長戦略の中でも今後見直さなければならぬ政策もあるのではないのでしょうか。農業分野では胸をなで下ろしている方々もいるでしょうし、自動車業界では今後どのような貿易取引がなされていくのか大いに懸念される話題の一つでもありました。現在グローバル化時代を迎え、日本における地方都市でも影響を受けるであろう様々な日米間の関係にこれからも注視しなければならないでしょう。

しかし、どういう場面においても足腰の強い地元に着した企業として生き抜いていかなければならないと思っております。その為にも、人とのつながりを大切に奉仕の精神をもって地元で愛される企業を目指していかなければと思っております。

本日は60周年記念行事の実行委員会を例会にて開催させていただき、各委員会での決定事項や詳細にわたる各委員会での役割分担を話しあいただき、会員皆様が共有共感し60周年に向けてより結束を深め、ご協力をお願いし素晴らしい記念行事が開催できますよう皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。中川実行委員長が掲げられております方針では、「全会員が心から喜びを分かち合える記念行事に、そしてクラブへの未来への第一歩として有意義で楽しい記念行事にしたい」と述べられております。スローガンは“爽やかでスマートそして地域と共に青少年奉仕に目を向けて”ということであり、各委員会の皆様の忌憚のないご意見をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。会長の時間とします。



【連絡事項】

- ・地区研修セミナー開催の案内が届きましたので該当者にお渡し致します。
- ・有害図書等環境調査実施の案内が届いておりますので漆野青少年委員長お渡し致します。
- ・故本田ガバナーを偲ぶ会が2月27日月曜日、13時～15時熊本ホテルキャスルで行われます。詳細はお尋ね下さい
- ・台北稻江RC30周年記念式典の案内状が届きましたので有村国際奉仕委員長にお渡し致します。3/25の地区大会の登録締め切りは今日になっております。変更がある方は例会終了時まで申し出て下さい。

出席率報告

委員長 内藤靖雄



会 員 数	64名	本日の出席率	
出 席 免 除	4名	81.67%	
欠 席 者 数	11名	1 / 1 3 出席率	67.74%
出 席 者 数	49名	補 填 数	0名
免除会員出席者数	0名	修 正 出 席 率	67.74%

- *届け出欠席 有村・岩下・堤正・田上・浅野・漆野・下田
堀川・新堀・尾上・青木
- *出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 釜田, 齊藤



**人吉RC創立60周年記念行事
6実行委員会**

【総務委員会】

- 委員長 片岡啓一
副委員長 有馬宏昭
委員 中島博之 高山征治 新堀純子
石蔵尚之 井手富浩 水野虎彦
宮崎智弘

【会場委員会】

- 委員長 和田栄司
副委員長 宮原和広
委員 岩井和彦 戸高克彦 永尾禎規
浦田繁喜 外山博之 岡啓嗣郎
有村隆徳 北昌二郎 内藤靖雄
後藤竜一 原田知一郎 岩下幸司
加登住亮

【式典委員会】

- 委員長 鳥井正徳
副委員長 安達玄一
委員 川越公弘 延岡研一 平田フク
山口令二 釜田元嘉 小林清市
田上明仁 村田武澄

【祝宴委員会】

- 委員長 浅野強
副委員長 竹長一幸
委員 下田文仁 友永和宏 大久保勝人
村山能史 堀川匠太 青木一幸
板井英朗 齋藤日早子 大野啓介
中村太郎

【記念事業委員会】

- 委員長 伊久美寛志
副委員長 葉山稔洋
委員 小林祐介 愛甲康 丸尾孜
塚本哲也 堤正博 大賀睦朗
漆野智康 尾上暢浩 増田力

【記念誌・記録委員会】

- 委員長 堤 脩
副委員長 山田仁法
委員 渡辺洋文 武末憲一 山賀勝彦

中川貴夫実行委員長



1. 方針

10年前の50周年の頃とは今、社会情勢が大きく変化し、年々ロータリークラブの周年行事への参加者が減少し、式典や記念品そのものもシンプルになってきています。そのような状況のなか、人吉ロータリークラブにとって60周年も記念すべき大きな節目であり、できれば、全会員が心から喜びを分かち合える記念行事に、そしてクラブの未来への第一歩として、有意義で楽しい記念行事になるよう

「爽やかでスマート そして 地域と共に青少年奉仕に目を向けて」

記念行事が実行されればと願っております。

2. 組織について

50周年と同様に、「国際奉仕委員会」を本田年度委員会の「国際奉仕委員会」にお願いする。台湾・韓国

3. 役割分担について

それぞれの委員会の役割分担は、50周年行事を参考にして確認。

4. 予算について

50周年の予算・決算を参考にして、予算案を暫定予算(目安予算約1,000万円案)に沿って立案・・・50周年は529名の登録

60周年は、300～350名登録を考えている点

5. クラブ表彰は、4月例会に検討開催

活動内容の確認、役割分担、活動案・予算案・スケジュール作成

.....
6. 51第会長から60代会長は、年度の行った事業に対しコメントを考えて下さい。10年の歩みとしてスライドにて報告します。

片岡啓一総務委員長



中川実行委員長の「爽やかでスマートな60周年記念式典」との方針に沿って、各委員会の活動計画及び予算を討議していただきます。併せて、5月20日当日までの活動スケジュールも検討してください。予算については概算ですが登録人数を350名としたときに、約1000万円の予算になります。ただし、窮屈な予算建てになることが予想されますので、そのことを含んで計画を進めてください。

式典当日は、アクトメンバーも夫人の会の皆さんにも手伝っていただかなければなりません。そして韓国、台湾からも姉妹クラブの皆さんが駆けつけてくださいます。これから徐々に忙しくなることと思います。しかし、登録、参加いただく皆様には「さすが、人吉!!」と思っただけのような式典になりますよう、会員皆様のご協力をお願いいたします。

～各委員会討議～（後日発表）



点 鐘 本 田 節 会 長

…半期を振りかえり…

ガバナー月信

前田眞実ガバナーメッセージ から抜粋

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

今月のRI月間テーマは会員増強と拡大月間です。今年の1月に開催された国際協議会において、ジョンジャームRI会長は今年度優先取組み事項として会員増強純増3%UPを掲げていました。それを受け、当地区でも今年度の会員増強目標を純増3%UP（1クラブ1名以上の増員）としています。また、それに加え75番目のクラブ設立を旧Eクラブの形態（今年から垣根がなくなった）にて設立すべく準備を進めています。これらは今年度の当地区における12の取組み事項に含まれています。会員の減少はとても切実な問題で、特にロータリーの歴史ある国は総体的に減少傾向にあります。新興国は会員数を伸ばし、歴史ある国は会員減少を招く、その理由は様々でしょうが、組織にも寿命があることを示唆しています。かなり前に「日経ビジネ

ス」で、企業が繁栄を謳歌できる期間、すなわち「会社の寿命」は、平均30年であると発表されましたが、その原因を私なりに推測すると、1つはビジネスモデルが変化しているにも拘らず、それに対応できない。あるいは、後継者の育成がスムーズに行われていない等が挙げられます。このことをロータリーで考えてみますと、地区であれ、クラブであれ、まったく同じことが言えるのではないのでしょうか？ロータリーも日々、少しずつ変わっています。その変化に対応しなければ取り残され、やがて淘汰されるのだと思います。そのことを防ぐ意味も込めて今年度の地区スローガン「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」が存在するのです。今年の4月に行われた規程審議会では、会員身分と例会の柔軟性など、未来に目を向けた決定が下されました。承認されたこれらの方針変更により、会員種類を自ら決定し、例会の頻度、場所、方法を選ぶためのより多くの裁量がクラブに与えられます。これまでロータリーではクラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきたようですが、その試験結果として、例会方法、会員資格等、クラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にあるとRIは結論付けています。この規定審議会での変更はクラブを活性化させる＝会員増強をより積極的に行なうためのチャンスと捉えるべきです。あくまでもクラブの活性化を行うための定款、細則等の変更である事を肝に銘じ、本来の目的にそぐわない言動と対処はクラブの存続を放棄する愚策と理解しなければなりません。

9月 基本的教育と識字率の向上月間

現在、世界の子どもの約7,500万人、成人の7億7,600万人の人々は読み書きができないと言われています。これは成人の5人に1人の割合で、その内3分の2は女性だそうです。世界の識字率は国により大きな格差があり、日本のようにほぼ100%の国もあれば、マリは23%です。比較的にアフリカの国々は識字率が低く、南米やアジアの一部がそれに続きます。読み書きができないと、必要な情報を手に入れることができず不利益を被るばかりか、意思や要求を書面で伝えられず、社会的な権利が大幅に制約され、多くの人が貧困となり、未来に希望が持てなくなります。その昔、ある有名人の母が「貧乏は教育で絶つ」と信念を持って子ども達を全員大学に進学させました。その家庭は経済的に苦しく、母親は無学でしたが、本能的に読み書き（教育）が出来なければ子ども達の未来はないと感じたのでしょう。現在、この有名人の兄弟はそれぞれの分野で活躍しています。昔は才能で環境を変えられましたが、今は環境が整わな

ければ才能を開花することは出来ません。識字率の低い国は概ね紛争や経済的に自立できていない国がほとんどです。しかしながら、そのような国に生まれてきた子どもに責任はありません。紛争の解決等は私達ロータリアンの力及ばずの面もありますが、整った環境を提供する意思と行動をとることは出来るのではないのでしょうか。R財団の次のプログラムが気になるどころです。

10月 経済と地域社会の発展月間

私達、職業人が自らの事業の継続的な発展を願うことは当然のことです。企業経営によって利益を得ることも当然であり、決して悪いことではありません。しかし、倫理にかける方法や法に触れる方法で利益をあげたとしても、それは一時的なもので長続きするものではありません。シェルドンは、自らが利益をあげることのみに狂奔せず、自分の職業を通じて地域社会の人に奉仕するという態度で企業運営をすれば、その見返りとして最高の利益が得られることを説いたのです。現在、世界の至る所で争いが起きています。シェルドンははじめ、先人たちの教えを世界のリーダーたちが実践すれば、紛争の無い心豊かな最高の無形利益が得られます。今、未来へ向けて大局的な決断と行動がリーダーに求められています。職業奉仕の理念で学ぶことは沢山あります。

11月 ロータリー財団月間

1917年6月18日、米国ジョージア州アトランタで開かれた第8回ロータリー年次大会に全米から2,588人が出席したこの大会で、当時の会長アーチC・クランプ（ロータリー財団の父）が演説し、その中で何げない提案とも思える次の一説を口にしたそうです。「世界で良い事をするための基金を作るのが、極めて適切だと思われる」その後、1カ月以内にこの基金にカンザスシティ・RCから初の寄付26ドル50セントが寄せられました。この基金がR財団の始まりとなるわけです。2件目の寄付はカンザスシティ・RCの寄付に続き、ほどなくしてロータリーの事務総長チェスリー・ペリー（ロータリーの賢人の一人）の元に届きました。それは世界で2番目に古い歴史を誇るサンフランシスコRCの直前会長からのもので、次の手紙が添えられていたそうです。「親愛なるチェス、カンザスシティのクラブが基金の元手として26ドル50セントを寄付したと読み、関心を引かれました。アーチC・クランプが提案したのなら、きっと良いアイデアに違いありません。私からの寄付として10ドルの小切手を同封します。誠に少額ではありますが、これをきっかけに他の方々もクランプ氏の意向を実現するために後に続いて

くれることを願っています。」その後、いくつか少額の寄付があったものの基金は何年も休眠状態が続きました。しかし「世界で良いことをしよう」の精神は脈々と引き継がれ、今日では世界各地の貧困緩和、保健改善、教育機会の拡大、平和の推進を支える財団に成長しました。現在、財団の資産は10億ドル（約1,000億円）となり、今まで30億ドル（約3,000億円）以上の資金がプログラムやプロジェクトに役立てられ、世界中の何百万人もの人々の生活が改善されました。アーチC・クランプが何気なく言った提案が、100年後には世界平和に大きく貢献する基金になるとは、当時、何人の人が予測したでしょう。リーダーの思いや言葉は、時として世界を動かしますが、それには志とサンフランシスコRCの直前会長の手紙にあるようにリーダーが信頼されていることが大切です。ロータリーの歴史に触れながら、リーダーとはどうあるべきかを先人が導いてくれます。今年度は記念すべき年度です。ジョンジャームRI会長もクラブや地区でR財団100周年を祝う事業を行ってくださいと言っています。残り半年の中で、地域や世界にとって良いことを何かしら取り組んで貰うことを心よりお願いいたします。

～ロータリー情報委員会よりミニ情報～

ロータリーカードを知っていますか？ 覚えていますか？



日本では、2002～03年度よりロータリーカードが発行されました。カードは、ゴールドカードとスタンダードカードの2種類です。ゴールドカードについては、年会費10,800円から一人3,240円が日本事務局に振り込まれています。さらに2007年10月からカード購入額の0.3%がロイヤリティとして日本事務局に振り込まれるようになりました。さらに2013年からは、ビジネスカードが利用できるようになりました。年会費は3,240円、カードショッピングの利用額の0.5%年会費のうち1,500円がロータリー財団に寄付されます。カードで買い物するとポイントがつき、そのポイントをためて1,000ポイント（5,000円分）になると、そのポイントをロータリー財団に寄付できます。認証ポイントと違い現金なので、買い物をした個人の年次寄付として実績に加算されます。日本では、ロータリーカードで、2013年6月末までに¥32,459,515円を財団に寄付しています。2011年7月～2012年12月までの半期で、ショッピング・ロイヤリティの0.3%に当たるUS\$8,825,606は東日本震災復興基金に寄付されています。2012～2013年度は、1年間のロータリーカードを使っての買い物額が13億1,000万円、ポイント交換が126万円という素晴らしい実績を上げています。皆さんロータリーカードを用意しませんか？